**2017 年 7 月作成(第3版)(新記載要領に基づく改訂)
*2013 年 10 月作成(第2版)
届出番号 11B1X00002Z01015

機械器具(01) 手術台及び治療台
一般医療機器 分娩台 13960000

# マミージョイ デリバリ

**【警 告】**

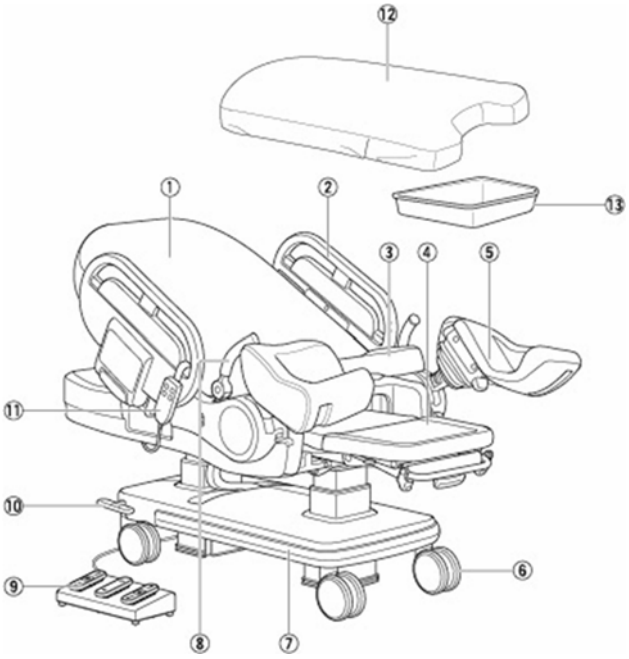
* 1) 3P 接続アダプターは絶対に使用しないこと。
2) 使用中は可動部分や調節部分の下に手や足または頭を入れたり、近づけたりしないこと。

**【禁忌・禁止】**

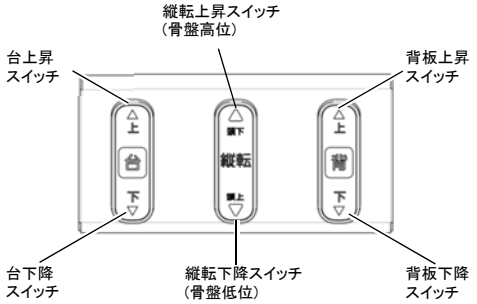
1) 高周波を発生する機器を、本品の周辺で使用しないこと。
[医用電気メスや携帯電話等の高周波を発生する機器を本品の作動中に周辺で使用すると、電波障害による誤作動の原因となるため]
2) 許可なく本品の分解やモーター、スイッチ等の修理を行わないこと。
3) この分娩台は 135kg 以上の患者に使用することを意図していない。
4) ベースに乗らないこと。

**【形状・構造及び原理等】**

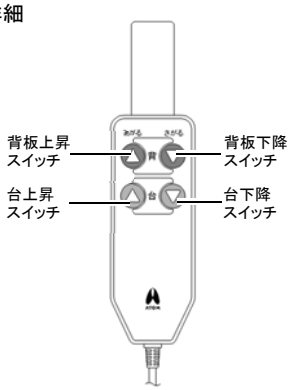
**1. 構成(代表図)**



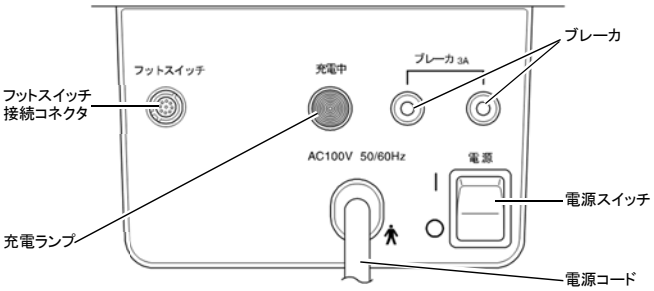

●フットスイッチ詳細




●ハンドスイッチ詳細




●電源パネル(ベース後面)詳細




| 番号 | 名称 | 番号 | 名称 |
|---|---|---|---|
| ① | 背板 | ⑧ | 怒責グリップ |
| ② | サイドフェンス | ⑨ | フットスイッチ |
| ③ | 腰板 | ⑩ | 切替ペダル |
| ④ | 補助台 | ⑪ | ハンドスイッチ |
| ⑤ | 支脚器 | ⑫ | マットレスカバー |
| ⑥ | キャスター | ⑬ | 処置用トレー |
| ⑦ | ベース | | |

**寸法・重量**

*寸法

(1)分娩ポジション時

マミージョイ デリバリ
幅 1210 全長 2055 高さ 1460～1860mm

マミージョイ デリバリ Low タイプ
幅 1210 全長 2055 高さ 1390～1640mm

(2)ベッドポジション時

マミージョイ デリバリ
幅 1010 全長 1950 高さ 650～1050mm

マミージョイ デリバリ Low タイプ
幅 1010 全長 1950 高さ 580～830mm

重量:約 200kg

**2. 電気的定格**

[AC 電源]
定格電圧:100V
周 波 数:50/60Hz
消費電力:300VA
デューティーサイクル:最大連続駆動時間 2 分
停止時間 18 分以上

取扱説明書を必ずご参照ください

**3. 機器の分類**

(1) 電撃に対する保護の形式による分類

クラスⅠ機器（コンセント使用時）

内部電源機器（バッテリー使用時）

(2) 電撃に対する保護の程度による装着部の分類　B 形装着部

**4. 動作原理**

本品は、電動式動作により分娩台の高さ、背板の傾斜および台全体の縦転傾斜を調節できる。補助台の高さ、支脚器の位置等の操作・調整は手動で行う。

**5. 安全機能**

・スイッチ押下時のみ、電動駆動する。

・内蔵バッテリーにより、停電時にも駆動できる。

**【使用目的又は効果】**

本品は、女性の体位を適切な位置に支持するために用いる調節可能な診療・処置台である。本品は、陣痛、分娩時及びその他妊娠に関連した診療・処置時に使用し、支脚器、怒責グリップなどを備えている。

**【使用方法等】**

(1)電源プラグをコンセントに差し込み、背板側のベースにあるスイッチで電源を入れる。

(2)ハンドスイッチ、フットスイッチにより分娩台の高さおよび背板の傾斜の調節を行う。また、フットスイッチでは、台全体の縦転傾斜も調節できる。

**【使用上の注意】**

＜重要な基本的注意＞

1) 使用前に電源ケーブルに機械的損傷がないことを必ず確認すること。

2) 電源ケーブルは分娩台や患者に接触しないようにすること。

3) 本品の動作電圧範囲（AC100V±10%）外では使用しないこと。

4) コンセントは本品の近くで、電源コードに人が触れない位置を選び、機器 1 台毎に専用のコンセントを用いること。

5) 絶対に延長コードを使用しないこと。

6) 本品が正常に作動しない場合は、すぐに使用を中止すること。

7) 移動させた後は必ず切替ペダルでキャスターにブレーキをかけること。
［誤って動き出すおそれがある。］

8) すべてのキャスターが床に接するように安定した場所に本品を置くこと。

9) 産婦にハンドスイッチを渡すときは、操作および注意事項の説明を充分に行うこと。
［けがの原因になるおそれがある。］

**【保管方法及び有効期間等】**

耐用期間:6 年[自己認証データによる]

保管条件:以下の条件下で保管すること。

保管温度　-10～60℃

相対湿度　10～85%(結露なきこと)

気　　圧　70～106kPa

**【保守・点検に係る事項】**

[使用者による保守点検事項]

1) 点検

毎回の使用の前に、各部品の基本的な機能動作を確認すること。また、3 ヶ月を目安に各機能の確認をすること。点検項目は取扱説明書を参照すること。

2) 清拭

・清拭前には電源ケーブルをコンセントから外すこと。

・プラスチックのカバーが施されている部分は取り外さないこと。

・石鹸水等を少量含ませた柔らかい生地を使い清拭すること。

・研磨剤を含む洗剤や洗浄液を使用しないこと。

・清拭後は、湿気を柔らかい布などでふき取ること。

・清拭中はモーターを始動させないこと。

3) 消毒

・消毒液の一例として、下記の水溶液を使用することを推奨する。

塩化ベンザルコニウム水溶液（オスバン等）

塩化ベンゼトニウム水溶液（ハイアミン等）

クロルヘキシジン水溶液（ヒビテン等）

・消毒液は必ず希釈し、原液のまま使用しないこと。

・塩素系の消毒液を使用しないこと。

・アルコールを含む消毒液を使用しないこと。

［アルコール系洗浄剤は各部のグリスを除去し、スムーズな可動を妨げる。また、機械部品の錆の原因ともなる。更に、機械内部に浸潤した場合、燃焼（着火）のおそれもある。］

［クッション表面や光沢仕上げの部分はアルコール系の溶剤により傷が付く。］

・消毒用スプレーは使用しないこと。

［スプレーの浸入、クッションによって覆われている機械的な部分に腐食を起こす可能性がある。］

[業者による保守点検事項]

1 年に 1 度を目安に定期点検を実施すること。

詳細については弊社または納入業者にご相談ください。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

**■製造販売業者**

**アトムメディカル株式会社**

〒338-0835 埼玉県さいたま市桜区道場 2-2-1

TEL: 048-853-3661(大代表)　FAX:048-853-0304(代表)

取扱説明書を必ずご参照ください